

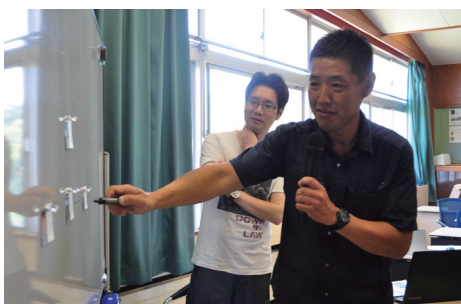


能登  
里山里海  
SDGs  
マスター  
プログラム

# News Letter

金沢大学 能登学舎 能登里山里海 SDGs マスタープログラム ニュースレター 2023年7月20日発行 第3号

## 能登里山里海 SDGs マスタープログラム 2023年度が始まりました！



今年度の能登里山里海 SDGs マスタープログラムは6月に開講し、9名が新たに受講生として入講しました。今回は6月17日の第1回目の講義の様子をご紹介します。

### ■能登 GIAHS とはなにか

午前は講義「世界農業遺産『能登の里山里海』の魅力と課題」を行いました。世界農業遺産（GIAHS）の認定にあたって能登は何が評価されたのか、その特徴と課題をSDGsの概念とともに解説しました。

### ■里山里海のつながりを知るワークショップ

ワークショップ「能登の里山里海をつなごう！」では、里山里海が多様な要素が集まり相互に関係しあっている能登 GIAHS の特徴を実感してもらいました。1枚のホワイトボードを前に、アイデアを出し合って協力しながら「能登の里山里海」構成要素同士を線で結び図を描いていきます。

### ■能登の人材育成と研究

能登学舎を拠点に行っている人材育成と研究活動の概要について説明しました。マスター修了生の活動支援や地元の小中高校での教育支援、各スタッフの専門性を活かした研究や地域貢献活動について紹介しました。

### ■里山での生きもの観察

野外で生きもの観察を行いました。生きもの観察アプリも活用しながら NPO 法人能登半島おらっちゃんの里山里海が管理する保全林を歩きました。クロサンショウウオの幼生やクスサンの幼虫、ため池では産卵のために集まったモリアオガエルなど、里山林に生息するさまざまな生きものを観察することができました。

### ■受講生の感想

受講生の出席レポートでは「自然環境と結びついた暮らしや伝統・文化、産業が色濃く残っていると感じた。人口が減少していくなかで、どのようにして、生態系サービスを維持していくのかということが問われると思った」、「保全林の中でオリアオガエルなど初めて見る生物や植物などが多くいました。森に人の手が加えられる事で森が活かされている、森の保全の大切さも学びました」などの意見が挙がりました。

(岸岡智也)

1  
2 3  
4 5  
6

1 ため池の周辺ではいろいろな生き物を観察できる。午前は講義、午後は野外にフィールドワークに出ることが多い。 2 多様な種類のトンボを見ることができる。 3 ため池周辺の木々にたたくモリアオガエル。 4、5 能登の里山里海を構成するトピックが記されたカードをつかって、どのように関連し合っているか参加者が表現するワークショップ。 6 講義では専門家が地域で事業や活動を実践するマスター修了生が登壇する。

# Report of NOTO SATOYAMA SATOUMI Meister

## マイスター 修了生の活動紹介

NAME

鹿野 桃香 さん

AREA

珠洲市

MEISTER

里山里海6期生(2018)

鹿

野さんは、奥能登国際芸術祭のサポーター活動の受け入れ窓口である一般社団法人サポートスズプロジェクトリーダーとして活躍しているマイスター修了生です。

大学生のとき経営学のゼミに入り、セールスやマーケティングに関する思考が鍛えられたという鹿野さん。しかし在学中に瀬戸内の島々に展開されるアート作品に触れたりする中で、クリエイティブなものに触れるときにこそエネルギーを享受することができると感じていた鹿野さんは、価値やものの捉え方を自分自身で受け取ったり、感じたりすることが許されている

アートに関わる生き方を模索するようになり、そして珠洲市の地域おこし協力隊の紹介を受け、2017年に珠洲に移住しました。マイスタープログラムを受講したのは2018年です。  
-マイスタープログラムを受講してみてもいいかでしたか。

「当時興味があった珠洲の秋祭りで行われる「ヨバレ」文化について調べました。珠洲に来て2年目は何もかもが新鮮で、その中でも赤い御膳でご馳走を振る舞われる文化であるヨバレはとくに奥能登珠洲の豊かさを感じました。社会人しながらも、勉強を隔週2回行うのは、少し負担もありましたが、人脈も広がって最終

NAME

平山 晴浩 さん

AREA

金沢市

MEISTER

里山里海SDGsマイスター  
2022年度

現

在、金沢大学の地域創造学類に在籍している平山晴浩さんは、2022年度の1年生の時に能登里山里海SDGsマイスタープログラムを受講しました。

静岡県出身の平山さんは金沢大学に入学するにあたって大学のことを調べているときにプログラムの存在を知り、学内向けの案内メールを見てすぐに応募を決めました。行ったことがない土地での文化や伝統を知ってみたいという好奇心旺盛な平山さん。能登地域の白米千枚田やキリコ祭りなどに興味を持ち、さらにはユネスコ世界ジオパークにも認定されている伊豆半島と能登半島の暮らし・文化の共通点や違いを比



2022年マイスタープログラム講義にて、ため池のモリアオガエルを観察。

較してみたいと感じたそうです。

実際にプログラムを受講してみたの感想は「価値観が広がった」。能登でやりたいことを全

NAME

石坂 智子 さん

AREA

七尾市

MEISTER

里山里海6期生(2018年)

七

尾市中島町、ヨットや漁船が停泊する穏やかな七尾湾に面した入江に、石坂智子さんが2022年から運営を始めた「ゲストハウスえんね」があります。

「宿泊業を立ち上げるのが一番の目的ではなくて。訪れる人がここに滞在する中で、中島町の魅力を感じることができる、その日、その時、その季節に沿った日常の一部として里山里海の暮らしを味わってもらえる、それがどうしたら可能かと考えました」

それはマイスタープログラムを受講しているときに取り組んだ研究テーマでした。2017年に地域おこし協力隊員として中島町に移住した



石坂さん。先達である「里人」、地域の年長者の方々に、里山里海の恵みを得る知恵や技術を教えてもらう中で、石坂さん自身がこの地ならではの多様な手仕事の楽しさや、作り出されるものの美味しさ、季節ごとの特徴をおもしろいと感じ、この魅力をもっと多くの人に知ってほ



## アートが結ぶ人と地域 奥能登国際芸術祭に参加してみませんか

的にはとてもよかったなと思いました」

珠洲市の地域おこし協力隊一期生として奥能登国際芸術祭に関わる業務を担当し任期を全うした後、一般社団法人サポートズで引き続き芸術祭の業務に携わっています。もともと、ものづくりやチームで何かを実践することが好きだった鹿野さんのコミュニケーションスキルは現在の業務でも存分に発揮されています。

2023年、今年は奥能登国際芸術祭の開催年です。今回は芸術祭の意義を「地元の人に伝えなおしていく作業をしていきたい」と鹿野さんは言います。今回のインタビューから、サポーター活動の周知とマネージメントを通して、地

域とアーティストをつなぎたいという思いを感じることができました。

—芸術祭の開催にあたって一言お願いします。

「奥能登国際芸術祭2023は今回で3回目を迎えます。第1回目からもう7年が経ちました。1回目は市民の方にいかに芸術祭を理解してもらうか、外の方にどれだけ協力してもらえるかを念頭に進めてきた結果、多くの方にご来場いただきました。それからコロナ、地震があり、芸術祭会期に不安なことがありますが、こんな時こそアートが地域を元気にするきっかけになれば嬉しいなと思います。ぜひマイスター修了生のみなさん、これをみていただいているみ



「さいはての朗読劇」で地元の堂前さんにお話を伺う大崎清夏さんのアテンドをする鹿野さん（右端）

なさん、サポーター活動で芸術祭に関わってみませんか？」

（小林秀輝）

## マイスタープログラムを通して大学生が見た地域の未来

力であり楽しんでる人たちとの出会いに刺激を受け、そこに住む人が伝統を守っていること、



さまざまな生き方や考え方があることを知ったそうです。また講義で出会った実践者との多くのつながりができたと言います。一緒に学んだ受講生

たちも個性豊かな人たちで、学生も社会人も同じ志を持って共に学んだことは貴重な経験だったようです。マイスタープログラムの受講をきっかけにこれまでよりさらに活発になり、人との出会いが楽しみになったと教えてくれました。

平山さんはいま、人と自然の関わりを通じた都市の緑化や地域活性化などに関心を持っていて、マイスタープログラムの受講以外にも、さまざまな大学のフィールド実習や地域活性化に取り組む学生団体の活動への参加など、積極的に日本の各地を訪れ、多くの人たちとの出会いを重ねています。最年少でマイスタープログラ



2023年3月、マイスタープログラム修了式にてスピーチをする平山さん。

ムを修了した平山さん、今後の活躍に目が離せません。

（岸岡智也）

## 里人の暮らしの文化を次世代につなげていきたい

しいと考えるようになりました。マイスター受講中の約1年間を振り返ってみると、自分が能登でやりたいことをじっくり深く考えることができる時間だったと言います。

えんねでは、味噌づくりや梅干し、漬物などの保存食づくり、山菜採り、収穫したものをつかった料理づくりなど、昔から続いてきた暮らしを日常の一部として感じてもらえるように、その人の興味関心に合うようオーダーメイドで滞在の仕方を提案しています。

「住んでいると、やはり年々、おじいちゃんおばあちゃん世代の知恵や技術が失われてきていることを実感します。一度失われてしまうと

わからなくなってしまい、取り返しがつきませせん。最初は過疎化が急速に進む能登に外から興味関心を持つ人を増やしていこうと、魅力発信の気持ちでしたが、地元の若い世代、子どもたちやその親世代のみなさんにも体験してもらえるような場もつくっていききたいですね」

石坂さんからお話を聞いていると、中島町での何気ない日々の暮らしをとても愛おしいと感じていることが伝わってきます。

「近頃、集落の方からいただいたヨモギの草餅が、はっとするおいしさだったのです。その秘密を教えてもらおうと作った方を訪ねて訪ねると、草餅をつくるときに木製の臼と杵をつ



えんねの玄関にあるマップ。散策にでかけたくくなります。

かっていることがわかったんです」

日々を宝探しのように過ごしている石坂さんだからこそ、教えてもらえる能登の魅力があると思いました。

（木下靖子）

## ニュース -News information

### ▶マイスター修了生たちとシギ・チドリ観察会を実施

2023年5月14日(日)、マイスターOB・OGによる「能登里山里海マイスターネットワーク」内のグループ「いきものプラス」の活動として、修了生やその家族など11人が参加し、旅する鳥シギ・チドリの仲間が千里浜周辺で餌を食べている様子を観察しました。キアシシギやハマシギなど多くの野鳥だけでなく、彼らがエサとするヨコエビや、砂浜に生息するハンミョウの仲間なども観察できました。



### ▶共通教育科目「未来デザインプラクティス」での講義

2023年6月25日(日)、金沢大学の共通教育科目「未来デザインプラクティス/水無月(珠洲)」にて、スタッフ岸岡が講義を行いました。学生自身がプロジェクトやイベントを企画し提案することを目的とした講義で、地域での学びを得るため学生、教職員32名が金沢から珠洲市を訪れました。能登里山里海SDGsマイスタープログラムの概要や修了生の活躍について解説し、自分なりの問題意識やテーマを持って行動することの重要性を伝えました。



### ▶高知大学土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業を訪問

篠田准教授とスタッフ小林が「高知大学土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業(土佐FBC)」の事務局を訪問し、高知大学でのリカレント教育の実践についてお話を伺いました。また、当該事業の修了生が運営に関わっている高知県日高村のNPO法人「日高わのわ会」の事務所も訪問し、土佐FBCとの関わりや地域おこし協力隊と連携した活動などについて教えていただいたほか、トマトをテーマにしたカフェもご案内いただきました。



### ▶能登里山里海 創業塾 2023年度 受講者を募集中!

能登里山里海 2023 創業塾

あなたの思いを創業につなげる第一歩を!

受講 無料 要 申込

「能登里山里海 創業塾」は能登里山里海SDGsマイスタープログラムと興能信用金庫が共催する創業支援プログラムです。能登での創業(事業化)に必要な知識をシリーズの講義で学びます。希望者は事業プランの磨き上げやプラン作成の指導を個別相談形式で受けることができます。

講義会場はいずれも金沢大学能登学舎です。第2回-第5回を受講し、終了証書を授与されると、珠洲市・輪島市・能登町・穴水町による「特定創業支援事業」の認定資格を満たすことができます。



Web サイト

#### ■講義日程

- 第2回 9/2(土) 16:45-18:15 「経営」
  - 第3回 10/14(土) 16:45-18:15 「財務」
  - 第4回 11/11(土) 16:45-18:15 「販路開拓」
  - 第5回 12/2(土) 16:45-18:15 「人材育成」
- (※第1回は実施済み)

#### ■お申し込み

Webサイトから【応募フォーム】にてお申し込みください。  
※応募は随時募集しております。関心のある講義のみのご参加も歓迎いたします。

#### ■お問合せ

金沢大学能登学舎(石川県珠洲市三崎町小泊33-7)  
能登里山里海創業塾 受講生募集係(担当:岸岡)  
電話:0768-88-2568  
E-mail: t.kish@staff.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学能登学舎 能登里山里海SDGsマイスタープログラムニュースレター 第3号

発行:金沢大学能登学舎 能登里山里海SDGsマイスタープログラム事務局  
編集:金沢大学能登学舎 能登里山里海SDGsマイスタープログラム事務局  
取材/文・写真:岸岡智也、木下靖子、小林秀輝  
デザイン:木下靖子

〒927-4162 石川県珠洲市三崎町小泊33-7 金沢大学能登学舎  
電話:0768-88-2568  
Webサイト: <https://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/meister/>  
2023年7月20日 発行

